

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
	総合的な探究の時間	1	3年次	3年次教員			
選択するときの条件							
使用教科書		使用副教材					
科目の目標			道徳教育のねらい				
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			<p>自己理解を深め、主体的に目標に向かう意欲と態度を育む。また、他者理解や他者との協働意識を深める中で、価値観の多様化が進む現代社会において主体的に判断し行動する能力を育てる。</p>				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働力	計画実行力
1	課題探究(後半)	◎	○	◎	◎	○	◎
2	自分の在り方生き方を考える。	○	○			◎	
3	講演会	◎	○				
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現			主体的に学ぶ態度		
	<p>探究の時間で身に付けた知識・技能だけでなく、他の教科で学んだことも活用し、探究する力を身につけている。</p>	<p>広い視野に立ち、変化する社会の現状を踏まえて、自己とのかかわりの中から問いを見つけている。</p> <p>基礎情報、一次情報、二次情報をバランスよく収集し、それらを、分析し、事実に基づいた探究を行っている。</p> <p>情報を取捨選択し、予備知識のない他者にも伝わるよう論理の筋道を意識し伝えている。</p>			<p>文献調査、データ収集に加え、課外活動や勉強会にも継続的に参加し、学んだことを探究に反映しようとしている。</p> <p>探究を深めたり、探究の成果を社会に反映するために学校から紹介された人と積極的に関わろうとしている。</p>		
評価の方法	次の3観点において、文章にて評価を行う。						
	教科・科目における各観点	授業における取組	各種レポート・ワークシート	成果物			
	知識・技能	○	◎	○			
	思考・判断・表現	○	○	◎			
主体的に学ぶ態度	◎	○	○				

総合的な探究の時間 授業計画

授 業 計 画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	自己の在り方生き方を考える。(6)	3年間の総合的な探究の時間の取り組みをはじめとしたこれまでの学びを振り返り、それらをもとに、自己のあり方や生き方について、改めて考えを深める。	各単元の最後には振り返りを行い、AiGROWを受検する。		
	5	課題探究 (後半) (24) 自己の在り方生き方を考える。				
	6	講演会 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍する方の講演を聴き、視野を広げ、多様な生き方があることを知る。 ・職業人による専門分野の講義を受け、自分の興味関心を深め将来について考える。 			
	7	課題探究 (後半) (24)	(前半・後半通じて) ・自己の関心や問題意識と今まで教科で学んだこと、実際の学問分野・テーマとのつながりを考え、テーマを設定する。 ・先行研究論文などから論の展開や自分の論をなり立てるために必要な資料は何かを知り、適切に収集する。 ・適切な論拠、データをもとに自分が設定したテーマに対する答えを考える。 ・探究の成果をわかりやすいレポートやプレゼンテーションにまとめ、他者に伝える。 ・ゼミ全員の探究がスムーズにすすむよう他者と協力する。			
	8					単元の最後には振り返りを行い、AiGROWを受検する。
9						
後 期						

